

独立行政法人情報処理推進機構デジタルアーキテクチャ・デザインセンター
(IPA DADC) が表敬訪問を受けました

公開日：2025 年 8 月 21 日

株式会社日刊工業新聞社が主催する「第54回日本産業技術大賞」において、『「ウラノス・エコシステム」による自動車および蓄電池サプライチェーン企業間でのデータ連携サービス』が最高位の内閣総理大臣賞に選ばれました¹。これを受け、IPAの齊藤裕理事長が、受賞した一般社団法人自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター²の藤原輝嘉代表理事による表敬訪問を受け、受賞報告と意見交換が行われました。



IPA DADC は、経済産業省や関係省庁等とともに、人手不足や災害激甚化、脱炭素への対応といった社会課題を解決しながら、イノベーションを起こして経済成長を実現するため、企業や業界、国境をまたぐ横断的なデータ連携・システム連携の実現を目指す取組として、「ウラノス・エコシステム (Ouranos Ecosystem) ³」を推進するとともに、政府や民間企業・団体の依頼に応じて、Society5.0 を実現するための社会や産業構造のアーキテクチャ設計に取り組んでいます。

データ連携においては、業界慣習も加味した上で、中小企業を含めたあらゆるステークホルダーが容易に参加でき、企業の営業秘密の保持やデータ主権の確保を実現しながら、拡張性や経済合理性も担保した仕組みの構築が不可欠です。

¹ 自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター、NTT データ、NTT データグループ、ゼロボード、dotD の共同受賞

(<https://corp.nikkan.co.jp/p/honoring/nihonsangyogijyutsutaishou>)

² <https://abtc.or.jp/>

³ https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/ouranos.html



そこで、IPA DADC は、企業や業界、国境を越えて、データを共有・活用するデータ連携基盤の設計原則・基本方針と、それに基づいたシステムが具備すべき機能を、自動車の蓄電池のトレーサビリティ管理を先行ユースケースに「サプライチェーン上のデータ連携の仕組みに関するガイドラインβ版⁴」として取りまとめ公開しました。今回、日本産業技術大賞の内閣総理大臣賞を受賞したデータ連携サービスは、本ガイドラインに準拠し設計されています。

IPA DADC では、データ連携基盤の更なる社会実装に向けて、他分野への展開を見据えたガイドライン整備等の活動を推進していきます。

⁴ <https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/guidelines/scdata-guidline.html>